



### 「途切れることなく」

3月15日に卒業式と閉室式、3月20日に修了式を行い道川分教室としての教育活動を終えました。

卒業式では高等部3年生の3名が保護者等に見守られながら、晴れやかに巣立ちました。卒業証書を授与する様子を見ながら、日々笑顔で学習に取り組んでいる姿が目に見え、喜びました。また、「学校に入学させて本当によかった。こんなにも生き生きと学校生活を送ることができて、心からうれしく思う。」というPTAでの保護者の方の言葉も思い出しました。

今年度、卒業生3名のうち2名は皆勤、1名は1日の欠席のみで、日々意欲的に学び続けました。これは、生徒本人の頑張りはもちろんのこと、各病棟の支援があつたことです。病棟との連絡会等のたび、看護師長さん達から「生徒が毎日元気に登校できるよう、学校と連携しながら病棟も頑張ります」と言っていました。卒業式に出席いただいた病院スタッフの方々を見ながら、共に生徒の学びを支えることができたことに、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

卒業式を終えた後は、「道川分教室閉室式」を行いました。たくさんの関係者の方々に御出席いただき、19年間の分教室の歴史に幕を下ろしました。

\*卒業式・閉室式の様子をホームページ内「トピック」「分教室通信」で紹介していますので、御覧ください。

修了式では、中学部のAさんが1年生の課程を無事修了しました。療育指導室の指導員さんや保育士さんが参観してくれました。

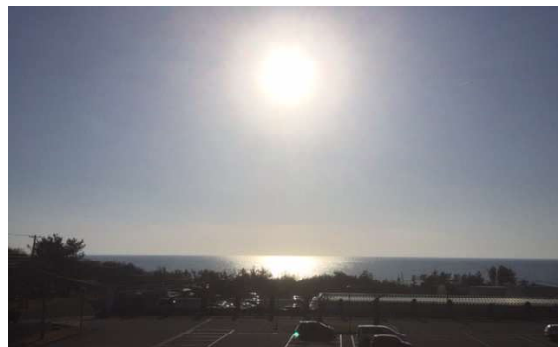
Aさんは、来年度から秋田きらり支援学校の生徒として学ぶこととなります。新たな環境や関わりの中で、さらなる成長を期待したいと思います。

卒業式・閉室式の日が近くなってきた頃、旧職員の方々が連絡をくれたり、来室したりしてくれました。そして当時のお話をうかがうことができました。

「本荘養護学校からの引っ越しのこと」「当時在籍した児童生徒のこと」「校外での活動を始めた頃のこと」「病院との連携体制づくりのこと」「過年度卒業生、就学猶予・免除者受け入れがスタートした時のこと」「あきた病院の増設や周年事業のこと」・・・たくさんの回想と、そこに係る想いを聞かせていただきました。

お話を通し、想いの一つ一つが積み重なっての今であることに気付きました。そして、道川の教育の尊さを感じることができました。

令和5年度、新たな体制でのスタートとなりますが、道川の教育が継がれ、途切れることなく積み重なっていくことを心から願っています。



【あきた病院から望む3月の日本海】